

市交際費の支出状況



令和3年12月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分 累計	2 52	10,000 161,000
見舞い	今月分 累計	0 0	0 0
御祝	今月分 累計	0 4	0 22,480
賛助	今月分 累計	0 0	0 0
激励金	今月分 累計	0 0	0 0
接遇	今月分 累計	1 35	1,120 78,860
会費	今月分 累計	0 5	0 22,000
その他	今月分 累計	0 0	0 0
合計	今月分 累計	3 96	11,120 284,340

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係
☎75-2115

連載

「ビーカーに入った泥水」

みなさんは、このタイトルが何を表しているか分かりますか。ビーカーに泥水を入れると濁っていて、透明には見えません。しかし、しばらく経つと、泥は下に沈んでいき、透明な水が見えてきます。これは、同和問題を例えたものです。

「あんたたちが同和問題の話をするけんが、知らん人たちが知るようにするやろう」同和問題はなくなっているから、そんな話は聞かんでもいい」という人がいます。本当にそうでしょうか。

なくなっただと思われている同和問題も就職や結婚の話になると、澄んでいたはずのビーカー

tomoni ikiru

の水がかき回されて濁るように、問題が見えてくるようになります。

また、同和問題に限らず、元ハンセン病や水俣病患者の家族など、実名を名乗ることができない人もいます。名乗ると差別を受けるかもしれないと考えているからです。「差別はなくなっただから隠すべきだ」という意見が、差別の現況を見えにくくしています。

泥水（差別のある社会）を完全になくすためには、泥（差別）そのものを取り除く必要があります。「昔から言われていたことだから」「人から聞いた話だから」と根拠のない話をうのみにして偏見を持つことやめ、同和問題を学習して正しい知識や理解を深めることが大切です。人権意識を高め、あらゆる差別をなくしていきましょう。

社会教育指導員 木村博重

Message for citizen



市長コラム



新型コロナウイルスの新たな

変異種であるオミクロン株による感染が広がっています。佐賀

県も1日当たりの感染者数の過去最高を更新。全国的にも同じ

傾向で、東京都は1万人を超え、全国の1日当たり感染者数も1

月22日に5万人を超えました。新年祝賀の懇親会や交流、そ

して成人の日関係の同窓会もあり感染者が増え、家族や職場など

で広がっているようです。オミクロン株は感染力が強い

ものの、症状が軽く、本人も感染の意識なく接触した人に広

が広がります。症状は感染後2日目に出るようです。これま

では5〜7日後でした。あたかもインフルエンザのようだと評

価する向きもあるようです。

多久市では感染予防や重症化予防のため一般市民の3回目のワクチン接種を進めています。

65歳以上高齢者の予約開始初日の1月11日には500人以上の

ここが正念場。3回目接種も。

市長 横尾 俊彦

1月24日記

予約があり、日々増えています。混乱なく進めることができます。

ある日「多久市は他より早く

3回目接種を実施されていますが特別な秘策があるのですか」

と尋ねられました。「秘策というよりも接種を支える医師会や

市職員ほかの尽力の賜物です。あるタイミングで市として判

断・決断し、加速しましたが、皆さんの御陰です」と答えました。

2月にどこまで抑え込みできるか。1月27日からの佐賀県内のまん延防止をいかに有効にで

きるか。ここが正念場です。日々の暮らしの様々な場面で

「まあいいか」でなく、もしかしたら自分は感染していて無症

状かもしれないとしたら、どうあるべきか、どうすべきかを考

えてみて、感染予防の協力をお願いします。自分自身のため、

家族のため、大切な人たちのために。必ずお願いします。